

青年委員会だより

平成30年1月1日（第206号）

青森県建築士会青森支部青年委員会

新年明けましておめでとうございます。全国大会が無事終わり、地域実践活動報告では2年連続で奨励賞と言う結果になりました！！悔しさを胸に、来年も全国大会へ行けるよう、頑張りたいと思います！！

忘年会及び次年度「建築体験ウォッチ」決起大会



参加者の皆様



お料理



会場の外観

第60回建築士会全国大会「京都大会」



青年フォーム参加の平塚委員長



青年フォーム参加の編集長松野



安田委員長のあいさつ



他ブロックの発表に聞き入る平塚委員長



発表開始！！



結果は…



奨励賞受賞後の平塚委員長



2年連続の奨励賞！！

(※裏面へつづく)

忘年会及び次年度「建築体験ウォッチ」決起大会

12月1日、慰労会で利用した『割烹粹樂』にて開催されました！案内状が届いて会場を確認すると粹樂だったので「すっぽん鍋だ！」と大いに期待していました。当日私は仕事が詰まってしまい会場に到着したのが終了30分前。参加者は慰労会の時とほぼ同じメンバーと今回ご参加頂いた数名でした。私は腹ペコだったのでバクバクと次々に料理を平らげました！気付けばみんなと一緒にデザートを食べていました(笑)そこでふと「おや？すっぽん鍋は？」と気付き、帰り際わざと平塚委員長に「まだすっぽん鍋出てこないけどこれからかなあ？」と言うと、周りは大爆笑！皆さん気にはなっていたが聞けずにいたとか。委員長から「この会費では無理です」と…残念…(泣)まあ何はともあれ、来年の建築体験ウォッチ成功を祈りつつ、協力企業と共に団結して頑張ることを誓いお開きとなりました。

青年委員会副委員長 川畠

第60回建築士会全国大会「京都大会」

12月7日、次の日午前中から地域実践活動発表会があるため、前日入りした平塚委員長と編集長松野！ホワイトインパルスが活躍中する大雪の青森空港から快晴の伊丹空港へ降り立ちました。伊丹空港からは、リムジンバスで京都駅へ向かい、ホテルに荷物を預かって、青年フォーラムに参加するため会場の京都市勧業館「みやこめっせ」へ向かいました。今回の青年フォーラムは、フィールドワークとして京都市街を見学し、その後スタディーワークとして、会場でテーブルディスカッションを行うものでした。事前に連合会から送付されていた資料の記憶を頼りに、会場へと到着した平塚委員長と編集長松野！受付を探しますが、青年フォーラムの受付がありません。スタッフジャンパーを着た人に聞くも、連合会の事業は分からぬと言うことになり、時間だけが過ぎて行きます。連合会からの連絡を見逃したかもしれない、持参したパソコンでメールを調べる平塚委員長…。編集長松野にも送付されていたメールを発見し、添付の資料を確認するも、時間と会場は編集長松野の記憶通りです！しかし、周りにはそれらしき受付もそれらしき参加者も見当たりません…。そうこうしていると、先程聞いたスタッフの方から声をかけられます。呼ばれて行くと、青年フォーラム参加者がいました。話を聞いたところ、フィールドワークの受付が全く違う場所に変更されていた上、フィールドワーク用の資料がメールで送付されていたことが判明します！もう一度メールを見直す平塚委員長ですが、やはりそのようなメールはありませんでした…。地理的に受付場所もわからず、資料もない状況に困ってしまいましたが、話をしてくれた方が資料を譲ってくれたため、資料を基に作戦を立てることにしました。資料の地図で経路を考えていると、東北の委員長さんたちが到着します。委員長さんたちには、フィールドワークの資料が送付されていたようですが、受付場所が資料には掲載されているものの、直接連絡されていたわけではないらしく、我々同様どう参加して良いのかわからない状態でした。そこで、東北チームでフィールドワークに参加することにしました。会場までは、タクシーで10分程度かかり、受付を済ませスタッフジャンパーを着ている人をたどりながら、六原地区の街歩きをしました。数件のチェックポイントを見学し、スタディーワークの時間が近づいたため、タクシーで会場へ戻ろうとしましたが、夕方で道も混んでいたためか、タクシーを拾うことが出来ない上、タクシー会社に連絡したものの、すぐに配車出来ない状況でした。観光客が多かったこともあり、さすがは世界的な観光地だと感心していましたが、地元の人からするとこの状態でも空いている方だと言うことでした。会場へ着き、スタディーワーク開始です。スタディーワークでは、フィールドワークで感じたこと等を各グループでテーブルディスカッションを行いました。その後、コーディネーターの安田委員長とパネラー3名によるパネルディスカッションが行われ、最後にまとめとして各グループで再度テーブルディスカッションを行い、青年フォーラムが終了しました。

12月8日、二度目の全国発表当日！！今回は、9時15分に会場へ集合し発表の説明が行われることになっていましたが、ここへ来て事件が起きます！！いつもは作業服にトレードマークの髪がボーボーなのに対し、スーツで髪をホワイトインパルスの除雪並みに綺麗に剃って気合十分だった発表者の平塚委員長…9時を過ぎてもホテルのフロントに現れません…。編集長松野が電話をすると、なんとこの電話により起きたとのこと！！発表当日に寝坊する度胸に感心しながら、「ダッシュで準備する！」との言葉に、10分くらいで来るだろうと待っていましたが、結局20分後に現れ、集合時間に大遅刻する始末…。ですが、到着後重要な部分を聞くことが出来、その後改めて個別に説明して頂くことが出来たため、何とかなりました。寝坊によりまだ頭が寝ているのか、余裕すら感じる平塚委員長を横目に、時間通り発表が終わるか不安を隠しきれない発表者補助の編集長松野！発表順は、全7ブロックでの5番目…。各ブロック発表者のプレゼンや発表内容に感心していると、すぐに順番が回って来ます！自己紹介から発表が始まりますが、先程余裕に思えていた平塚委員長！！緊張しているのか、むつ大会くらいの早口です…。なぜ？と思う間もなく、原因が明らかになります！！発表前の打合せで、動画以外の説明部分は2分以内と決めていましたが、他ブロックの発表に刺激されたようで、体操の動画に入る地点で、既に4分を超えていました！！一応、全体構成を把握していた編集長松野！！断腸の思いで、子供たちの体操動画を途中でカットします。次の子供たちの感想動画も当然、時間の関係で半分をカットすることに…。しかしながら、最後のPVはイントロと同時にカットしたことにより、笑いが生まれました！！結局30秒ほど時間オーバーとなっていましたが、昨年に比べれば、参加人数や今後の活動についてまとめるところまでたどり着けたため、何とかなったのではないかと思いました。全ブロックの発表が終わり、審査の結果は…。の前に、今回からウェブ投票が導入されました。資料に記載されているQRコードを読み取り、上位2ブロックを投票する形式です。投票結果はすぐ出ますが、苦手な方には投票用紙が配られていました。では、改めて！審査の結果は…

最優秀賞が関東甲信越ブロック（長野）、優秀賞は近畿ブロック（京都）となり昨年の順位が逆転する形となりました！！両ブロック共に発表や活動内容はとても素晴らしいものでしたが、最優秀賞となった関東甲信越ブロックに関しては、建築士が1人しか関わっていないということもあります、我々の発表が同じ舞台で審査されることに疑問を感じました。しかしながら、2年連続での奨励賞受賞！！来年こそは上位を目指すとともに、これから先も全国の常連になれるよう頑張りたいと思います！

全国大会が無事に終了しました。青年委員会で残っている事業は、黄色本の改定作業です。これまでの黄色本を使用して疑問に思ったことや修正して欲しい点、追加して欲しい内容等ありましたら、事務局または青年委員までご連絡下さい！また、今月は副委員長の洞内さんが実行委員長を務める「新年会」が1月26日に開催されます。場所は本町5丁目のねぶたの國「たか久」です。今月は定例会を開催しませんが、委員の予定が合えば全国大会の報告と今後の事業に対する打合せを兼ね、新年会を開催したいと考えています。その際は、個別にご連絡しますのでよろしくお願ひ致します！